

フィンドレー大学への協定校留学 1月分報告書

留学先大学；フィンドレー大学

氏名；高橋光子

【はじめに】

今回は、新学期の生活についてお伝えしたいと思います。

【履修登録】

1月9日から新学期が始まりました。IELP のみの I-20 の関係で、学部授業をとるための手続きが滞り、文芸大生は普通の学生と比べて一か月以上遅れて履修登録が完了しました。

I-20 に関しては、担当者がおらず、たらい回しにされることが多々あり、改善していただきたい点です。IELP のみの I-20 のままでいるためには、IELP の授業を学部授業よりも多く履修する必要があり、自分の取りたい授業をとることは難しいです。

【生活】

新学期の一週間はかなり精神的にも体力的にも厳しかったです。自分でも気づかないうちに免疫力が低下しており、コロナウイルスとは別の感染症にもかかってしまいました。また、春期は秋期と比べて厳しい寒さにより学内が閑散としており、勉強も忙しくなったため、秋期の方が楽しかったとってしまいます。アメリカ人にとっても春期は勉強が大変で、イベントに参加する余裕がないと聞きました。そのため、秋期のモチベ

ーションの保ち方はかなり重要になってくると思いました。

【イベント】

私の誕生日が一月の終わりにあり、サプライズで友達が誕生日パーティーを開いてくれました。みんなで唐揚げとアイスクーキを食べ、久しぶりの美味しい日本食に感動しました。

まさか、アメリカで誕生日を祝ってもらえると思っていなかったのも、とても充実した日を過ごしたことができました。

また、同日に新年会があり、お餅と日本のお菓子を食べ、書初めをやりました。想像していた以上に多くの人に来て楽しく、文化交流をすることができました。

【おわりに】

次回の報告書では、地域の活動について触れたいと思います。



